

蚕糸絹文化学習教育奨励褒賞

(蚕を学ぶ奨励賞)

宮城県 気仙沼市立月立小学校

活動概要

月立小学校では、3・4年生が総合的な学習の時間に養蚕について学ぶことを通して、地域の歴史や伝統等について理解を深めている。この学習活動は、スタートしてから19年が経過しており、地域のよさを学ぶよい機会となっている。

地域の専門家から、蚕の育て方や養蚕の歴史、養蚕と地域との関わりについて学んできた。子どもたちは自分たちで蚕を飼育し、生長の観察を行うとともに、自ら育てた繭を使った繭クラフト作りにも取り組んでいる。

子どもたちが蚕に関わり学んだ成果については、年度末に地域の方々を招待した発表会の中で披露している。地域の宝とも言える子供たちが、地域の大切な産業である養蚕について学ぶことで、よりよく地域理解を進めることもできている。

学びを深める子どもたちの姿からは、「自分たちが地域を守っていこう」、「地域の素晴らしさを広めていきたい」、そのような気持ちを強く窺うことができる。

今後も本校の大切な学習活動の一つとして、しっかりと継続していきたいと考えている。

群馬県 藤岡市教員委員会

活動概要

藤岡市教育委員会では、世界遺産である「富岡製糸場と絹産業遺産群」の高山社跡が地域にあることから、地域の産業として盛んであった養蚕業について、総合的な学習の時間を中心に社会科や理科と関連付けた教科横断的に学ぶ「高山社学」を位置付けている。「高山社学」は、郷土を誇りに思い、郷土を愛する児童生徒を育成するために、世界文化遺産である高山社跡を学習素材として活用し、各教科等での学習内容と関連させ、高山社に関わる学習だけでなく、市内各地の郷土の歴史や人物、文化等について学ぶ学習である。平成25年度より実施されている「高山社学」の中で、市内11の小学校において蚕を育てる活動の支援を行っている。